

えんがわ

第23号

2009年2月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel.046-852-1182

はじめまして！ 衣笠ホスピスです

衣笠ホスピスは今年で11周年を迎えます。衣笠病院の病棟の1つですが、別棟なのでご存知ない方も多いようです。いわゆる緩和ケア病棟です（がんの患者さんが対象です）。

ここ1、2年でホスピスの申し込みをされる目的が多様になってきたように思います。在宅での療養を選択されながら、何か辛い症状が出た時に一時的に症状緩和のために入院したい、あるいは介護者が元気に介護を続けられるよう、時々リフレッシュのためにホスピスを利用したいというような安心して在宅で生活できるようと、ホスピスを

一応申し込んでおく方が少しづつ増えてきています。

ホスピスをご利用頂くまでの手続きが簡単とは言えませんが、興味をお持ちの方は、一度ご連絡を頂ければと思います。また、在宅での生活を選択されている方のお役にも立てるホスピスになれるよう、ご意見を頂けたら嬉しく思います。夢は「緩和医療の事なら衣笠病院グループに相談すれば安心」と地域の方々に思ってもらえるようになることとです。まだまだ課題はたくさんありますが、最高のスタッフ皆と一緒に夢を実現できるよう頑張ります！

衣笠ホスピス

看護師長 鈴木由美子

えんがわ在宅モト

畳のチカラ

日本人が古来から愛してきた畳。最近の家には和室の無い家も多くなってきたようです。しかし、近年の研究で畳部屋には集中力をアップさせる効果がある事がわかりました。

熊本県では中学生を対象にした実験で一般教室と畳教室で同じ試験を行って、畳教室の方が約15%も成績が上がったそうです。そんな理由もあってか、現在ではフランスを中心としたヨーロッパでも畳の人気が上がっているようです。現地の方はそれが日本の文化とは知らずに使っているようです。：

い草には色々な効果があります。色には安心感。香

りにはリラクセス成分。平安時代ではい草を薬草としても用いられていたようです。最近では食品や和紙・石鹼・入浴剤などにも利用され始めています。

こんな様々な力を秘めた畳を日本の文化として大事にしていきたいものです。ね。「温故知新」日本の良さを取り入れながら、洋式の良さを取り入れていきたいものです。



湘南国際村クリニック
ソーシャル
ワーカー
吉田美保

寒い中、力強く梅が咲き始めましたね。梅の花の強さを、私たちも見習っていきたいものです。暖かい春はもうすぐそこまで来ています。

